

競技注意事項

1 規則について

- 1) 本競技会は 2023 年度日本陸上競技連盟競技規則及び国内広告規定により実施する。

2 ナンバーカードについて

ナンバーカードは主催者が 2 枚用意する。そのままの大きさと胸と背に確実につけること。ただし、跳躍競技者は胸、または背だけでもよい。トラック種目出場者は主催者が用意する写真判定用腰ナンバー標識(競技終了後回収)をパンツの右下やや後方に付ける。すべてのナンバーカードは折り曲げたりしてはならない。

3 競技者の招集について

- 1) 今大会において、招集時間は、a)トラック競技においては、競技開始 30 分前に開始し、競技開始 20 分前をもって完了するものとする。b)フィールド競技においては、競技開始 1 時間前に開始し、50 分前をもって完了するものとする。なお、招集場所は、a)トラック競技及びフィールド競技(棒高跳を除く)においては 200m スタート地点後方の **GATE5 裏** に設置された招集所において行うものとする。b)棒高跳においては現地招集とする。
- 2) 複数の種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が 競技者案内所(200m スタート地点後方の **GATE5 裏**)に用意されている「重複出場者届」を、競技者案内所へ招集を受けることができない種目の招集開始時刻までに提出すること。招集における代理人による点呼は認めない。
- 3) 招集完了時刻に遅れると、当該種目を棄権したものと処理する。
- 4) リレー競走は、オーダー変更の有無にかかわらず、オーダー用紙(競技者案内所に用意)を記入して、招集開始時刻 1 時間前までに競技者案内所に提出すること(メンバーについては競技規則 TR24.10 を参照のこと)。

4 トラック競技について

- 1) トラック競技の計時は、すべて電気計時(1/100 秒)を用いて行う。
- 2) トラック競技の走路順は、プログラム記載順とする。エントリーが 6 名以下の場合は、1 レーンを空ける。
- 3) 対校 800m 競走は、各校の正選手が予め大学毎に定められた 1 つのレーンに 2 人ずつ入ってスタートする。
- 4) 同成績による次ラウンド選出者の選定は競技規則 TR21 により行う。
- 5) 本大会で使用するシューズについて、靴底の厚さについては TR5 及び「競技用靴に関する規程」に準じる。規定を超える靴での出場は認めない。World Athletics(WA)が承認したシューズリストで No と記載されている靴については使用ができないので、各自で確認しておくこと。<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>
- 6) 単独で通信機能を持つスマートウォッチ等の使用を禁止とする。

5 フィールド競技について

- 1) 試技順は、プログラム記載順とする。
- 2) 対校種目とオープン種目が実施される競技については、対校種目とオープン種目を同時に行い、試技順は対校種目の次にオープン種目を行う。
- 3) 投てき競技、跳躍競技(走高跳、棒高跳を除く)の試技数は次の通りとする。対校種目については、全員 3 回の試技を行い、上位 8 名が記録順にさらに 3 回の試技を行って順位を決定する。出場選手が 8 名以下の場合は、出場選手全員が 6 回の試技を行って順位を決定する。ただし、オープン種目については、試技の回数は 3 回とする。
- 4) 跳躍競技(走高跳、棒高跳)のバーの上げ方は次の通りとする(ただし、天候等の状況により変更することもある)。

走高跳	—	練習	1	2	3	4	5	6	7	以後、最後の 1 人になり、優勝者が決まるまでは 3cm 刻みとする
	男子	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	
	女子	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	

棒高跳	—	練習	1	2	3	4	5	6	以後、最後の3人以内になった場合、5cm刻みとする
	男子	3m30	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80	3m90	
	女子	3m10	3m00	3m10	3m20	3m30	3m40	3m50	

5) 三段跳の踏切板の位置は、砂場に近い方の端から男子 12m、女子 10mとする。

6 アップ場について

アップ場所は陸上トラック、室内走路、リングロードに限定し、外構・コンコースでのアップは禁止とする。また陸上トラックに関して、7時00分から8時15分までに限定する。

7 待機場所について

待機場所は以下の場所が利用できるものとする。

- 1F バックスタンド
 - コンコース
- B2F メインスタンド
 - チーム更衣室1
 - チーム更衣室3
 - ウォームアップエリア1
 - 監督室1
 - 監督室3

8 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具(砲丸・棒高跳用ポールを除く)は、すべて主催者側が用意したものを使わなければならない。やりは、主催者が用意した投てき用具としてリストに複数本ないものは、公式計測員の検査を受けて合格したものに限り、2個まで個人所有のもの(日本陸上競技連盟検定品に限る)が使用(持ち込み)できる。

※詳しくは以下の表の「主催者が用意する国立競技場備え付け投てき物リスト」を参照。

- 2) 持ち込みの用器具に関しては検査を受け合格したものに限り使用できる。検査は、招集開始時刻 90 分前までとし、競技者案内所(200m スタート地点後方の **GATE5 裏**にて行う。なお、検査に合格したやりは他の競技者と共有となる。また、破損については、持ち込み者個人の責任とする。持ち込みのやりは競技終了後、競技者案内所にて返却する。

表1. 主催者が用意した国立競技場備え付け投てき物リスト(円盤)

種別	重量	メーカー	製品情報				数量	備
			型番	規格	径	厚		
円盤	男子(2.000kg)	NISHI	スーパーHMカーボン	NF311	I-18-0891	φ 220.5mm	3	12
			スーパーHM	F331A	I-02-0255	φ 220.5mm	3	
			スーパー	F301B	I-99-0078	φ 220.5mm	2	
		ギル	OTEカーボン	NC717A	I-08-0421	φ 220mm	2	
		DENFI	ユンゲンシュルツ	C741	I-99-0098	φ 220mm	2	
	女子(1.000 kg)	NISHI	スーパーHMカーボン	NF313	I-18-0890	φ 181.5mm	3	12
			スーパーHM	F333A	I-02-0256	φ 181.5mm	3	
			スーパー	F303B	I-99-0086	φ 181.5mm	2	
		ギル	OTEカーボン	NC718A	I-08-0422	φ 181mm	2	
		DENFI	ユンゲンシュルツ	C742	I-99-0099	φ 181mm	2	
	高校男子(1.75kg)	NISHI	スーパーHM	F334	I-07-0390	φ 210.5mm	6	12
			スーパー	F304B	I-03-0293	φ 210.5mm	6	
ユース(1.5kg)	NISHI	スーパーHM	F332A	I-06-0359	φ 201.5mm	6	12	
		スーパー	F302B	I-06-0358	φ 201.5mm	6		

表 2. 国立競技場備え付け投てき物リスト(やり)

やり	男子(800g)	NEMETH	クラシック90m	NC828	I-99-0100		1	14
			クラシック85m	NC829	I-09-0429		1	
		NORDIC	エグザイターflex6.1	NC760A	I-99-0011		1	
			チャピオンflex6.4	NC762A	I-99-0012	向い風用	1	
			オービットflex6.6	NC761A	I-99-0014	追い風用	1	
			スーパー1800flex6.8	NC763A	I-99-0020		1	
			スーパー1900flex7	NC764A	I-99-0019	追い風用	1	
			マスター-800flex7.5	NC765A	I-99-0013		1	
		NISHI	Super GD Type I	NF450	I-18-0931		1	
			Super GD Type II	NF451	I-18-0932		1	
			HYBRID GENOME X	NF458	I-11-0506		1	
			スーパーDR	F453E	I-01-0236	80m	1	
			ロングDR	F454E	—	70m	1	
			ミディアムDR	F455E	—	60m	1	
	女子(600g)	NEMETH	クラシック80m	NC835C	I-99-0102		2	12
			クラシック75m	NC836C	I-99-0103		2	
		NORDIC	ダイナミクスflex6.2	NC771D	I-99-0018	向い風用	1	
			スーパーflex7.0	NC775D	I-14-0715	追い風用	1	
			ダイナミクスflex7.2	NC773D	I-99-0015		1	
			ダイナミクスflex7.7	NC774D	I-99-0016	向い風用	1	
NISHI		HYBRID GENOME X	NF466	I-12-0573		1		
		スーパーDR	F463F	I-01-0235	70m	1		
		ロングDR	F464F	—	60m	1		
		ミディアムDR	F465F	—	50m	1		

9 正選手の入替えについて

- 「補欠」は設けず、ナンバーカード登録されている選手(他の対校種目、OP 種目にエントリーしている選手)内での入替えのみ認める。
- 期限は3日前の3月28日(火)とし、この日にミーティングまたはLINEで正選手入替えの情報を各大学でまとめて共有すること。その際、入替えの理由を必ず明記するようにし、期限後の正選手入替えは認めない。
- 正選手入替えの理由は怪我の他、選手の体調による変更等も認めることとする。
- リレー種目に関して、交代が可能な基準は「対校種目に出場した(出場する)選手(当日OPから対校種目に移った選手も含む)に限定する。

10 対校種目の得点について

- 男子種目の得点は、1位8点、2位7点、3位6点以下5、4、3、2、1点とする。ただしリレー種目に関しては、1位8点、2位7点、3位6点以下5、4、3点とする。
- 女子種目に関しては全種目共通で1位3点、2位2点、3位1点とする。

11 商標等について

競技者が競技場に商品名のついた衣類、バックなどを持ち込む場合は、「競技会における広告および展示物に関する規定」を遵守すること。基準をこえる商標については必ずガムテープ等を貼って隠すこと。

12 その他

- 2023年度の日本陸上競技連盟競技規則修正点について特に注意すること。
- 競技者はビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリアに持ち込むではない。
- 芝生内への立ち入りは厳禁とする。ただし、投擲競技者・審判員・運営スタッフの必要最低限の立ち入りは認める。

- 4) スパイクを履いたままコンクリートの上を歩くことを禁止する。
- 5) 競技運営上、多少の競技日程変更がある場合もある。
- 6) 競技中の事故等による身体の故障の場合、医務員が応急処置を行う。
- 7) 緊急車両の手配について、救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技場側の許可なく手配をしないこと。手配する場合は、大会本部より車両の手配を行うので、その際は、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- 8) 国立競技場開場及び閉場時刻について（開場）7時00分（閉場）20時00分とする。
- 9) 競技運営上の諸問題は大会総務、競技規則上の諸問題は審判長が決定する。
- 10) その他、不明の点は大会本部に問い合わせること。

東京六大学対校陸上競技大会事務局（本間、竹内）
TEL: 080-5081-8861 / 080-2012-2035
E-mail: rokudai.1968@gmail.com

初版 2023年3月23日
改訂 2023年3月25日
改訂 2023年3月26日
改訂 2023年3月28日